

事業者温室効果ガス削減計画書概要（第二計画期間）

1 事業所の概要

事業者の名称	NTT東日本株式会社	
事業所の名称	新青葉通ビル	
事業所の所在地	宮城県仙台市	
主たる事業	通信業	
事業者の該当要件	○	条例第2条第5号イに該当する特定事業者
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者
		条例第15条第1項に該当する一般事業者
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	<p>NTT東日本グループ 環境基本方針</p> <p>私たちNTT東日本グループは、ありのままの自然を未来に繋ぎ、人と自然が共生した新しい豊かさの創造に貢献していきます。そのために、事業活動による環境負荷の削減と技術・イノベーションの創出により、環境問題の解決と経済発展の両立を図っていきます。</p> <p>1. 温室効果ガスの削減</p> <p>IOWNの導入や再生可能エネルギーの開発・利用拡大、カーボンニュートラルに貢献するサービス提供等により、NTT東日本グループの事業活動及び社会における温室効果ガス削減に取り組みます。</p> <p>2. 資源循環の取り組み</p> <p>消費型から循環型経済への転換に向け、製品・システムの調達から利用・廃棄に至るまでのライフサイクル全体を通じて、資源を有効利用する取り組みを推進します。</p> <p>3. 生態系保全の取り組み</p> <p>事業活動及び社員活動を通して、自然に寄り添い、生態系保全に関する取り組み（自然資本への配慮）を推進します。</p> <p>4. 法規制の遵守と社会的責任の遂行</p> <p>環境問題に関する世界各国・各地の法令を遵守し、高い倫理観を持って行動します。</p> <p>5. 環境マネジメントシステムの確立と維持</p> <p>NTT東日本グループは、環境マネジメントシステムを確立し継続的に改善するとともに、環境問題に関する基本戦略、活動の実施状況、情報開示について、議論し、取り組みを推進していきます。</p> <p>6. ステークホルダー・エンゲージメント</p> <p>NTT東日本グループのバリューチェーンすべてを対象にステークホルダー・エンゲージメントを実施することにより、環境問題の解決に貢献します。</p>	

2 温室効果ガスの削減目標等

温室効果ガスの排出状況及び削減目標 ・ 非化石エネルギーの使用割合目標	基準年度	2022 年度	基準排出量	7,828 t-CO2	基準原単位	0.1747
	目標年度	2025 年度	目標排出量	7,437 t-CO2	目標原単位	0.1659
			削減率	5.00 %	削減率	5.03 %
			非化石電気	48.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	目標設定の考え方	<p>温室効果ガスの排出の大部分は、電気通信設備で使用する電力に伴う排出です。</p> <p>電気通信は、重要な社会インフラであることに加え、次世代ネットワーク（NGN）サービスに伴う設備の導入が進んでいることから、エネルギー消費量の削減は容易なものではありません。そこで、NTT東日本では、これまで進めてきたネットワーク設備の更改・統合や、空調設備の更改、TPR運動（トータルパワー改革運動として、NTTグループ全体として、省エネルギー活動からさらに一歩踏み込んで研究開発段階から電力エネルギー削減に取り組むトータルの運動を言います。）等の施策に加えて、通信機械室内の運用改善や太陽光発電の導入等についても推進していくことにより、温室効果ガス排出量の増加を抑え、削減に努めることにより基準年度5%のCO2排出量削減を目指す。</p> <p>「非化石エネルギー」の使用目標については、NTT東日本マクロで「再生可能エネルギー利用割合を、2022年度と比して2023年度は48%アップ」を目標として掲げています。</p>				

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

[illegible]

その他の対策の実施計画	項目	具体的な取組内容	実施年度
	環境マネジメントシステムの導入	環境マネジメントシステムを構築・運用し、環境汚染の予防と環境負荷低減を推進するとともに、環境パフォーマンスの継続的な改善に努めています。	実施済
	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	マイカー通勤を禁止している。また、外回り等の移動では、公共交通機関による移動を推奨している。	実施済
	環境教育・学習の実施（従業員以外を対象にしたもの）	仙台市の小学校高学年が働く体験を通じて「社会と自分とのかかわり」「経済のしくみ」「仕事とは何は」を学ぶ「仙台スチューデントシティ」に参画しています。	実施済
	廃棄物削減対策の実施	NTT東日本グループは、通信設備撤去、土木工事に伴う廃棄物についてはゼロエミッションを達成しています。建築工事廃棄物やについてもゼロエミッションを達成できるよう、リサイクル率向上に取り組んでいます。	実施済
	廃棄物削減対策の実施	NTT東日本グループは、オフィス内における廃棄物について、IP系通信機器（光回線終端装置、ADSLモデム、ルータ等）のリユースや紙資源の再資源化等により、リサイクル率の向上に努めています。	実施済
	森林の保全・緑化の推進	NTT東日本 宮城事業部は2015年から宮城県東松島市において『「NTT東日本みやぎの森」プロジェクト』を毎年実施しています。この活動は、東日本大震災によって傷ついた海岸防災林の再生を目的とした取り組みです。	実施済
	グリーン調達の実施	NTT東日本グループは、事務用品の購入について、環境負荷低減の観点からグリーン購入を推進しています。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	社内OA端末のシンクライアント化	第2年度
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	NTTグループの2018年のEV100加入を踏まえて、NTT東日本グループとして2030年までに一般車両のEV化100%を目指します。	第3年度